

・解答

	借方科目	金額	貸方科目	金額
1	当座預金	38,800	売掛金	40,000
	売上割引	1,200		
2	(試験範囲の改定により試験範囲外となったため削除)			
3	(試験範囲の改定により試験範囲外となったため削除)			
4	当座預金	98,200	売買目的有価証券	96,000
			有価証券売却益	1,000
			有価証券利息	1,200
5	建物	5,000,000	建設仮勘定	2,000,000
			当座預金	3,000,000

・解説

1. 売上割引に関する問題です。

売上割引は、早期回収の見返りとして代金の割引を行う際に使う勘定をいい、金融上の取引に起因するものなので、売上戻りや売上値引のように売上控除項目として処理するのではなく「売上割引」という独立の科目をもって、**営業外費用として処理**します。

本問も早期回収の要件を満たしていますので売上割引を計上することになりますが、早期回収の要件は会社・取引ごとに異なり、日商簿記検定 2 級の仕訳問題で出題される場合は必ず問題文に指示があるので暗記する必要はありません。

売上割引に関する問題は、第 104 回の間 4や第 112 回の間 2、第 126 回の間 4でも出題されているので、あわせてご確認ください。

2. (試験範囲の改定により試験範囲外となったため削除)

3. (試験範囲の改定により試験範囲外となったため削除)

4. 有価証券の売却に関する問題です。

本問は「有価証券利息を受け取った仕訳」と「売買目的有価証券を売却した仕訳」を分けて考えましょう。

まず「有価証券利息を受け取った仕訳」を考えてみましょう。

問題文に「端数利息の金額については 1 年を 365 日として日割りで計算する」とあるので、前回の利払日の翌日から売却日までの 146 日分 (=31 日+30 日+31 日+31 日+23 日) の有価証券利息を計上します。これは以下のような計算式で算定します。

$$100,000 \text{ 円} \times 3\% \times 146 \text{ 日} \div 365 \text{ 日} = 1,200 \text{ 円}$$

★解答①

(借) 当座預金 1,200 / (貸) 有価証券利息 1,200

次に「売買目的有価証券を売却した仕訳」を考えますが、こちらは簡単なので特に問題はないと思います。有価証券の売却損益は、**帳簿価額と売却価額の差額**で求めます。

■有価証券の帳簿価額=96,000=96,000 円

■有価証券の売却価額=100,000 円×0.97=97,000 円

■差額=1,000 円 (帳簿価額<売却価額…売却益)

★解答②

(借) 当座預金 97,000 / (貸) 売買目的有価証券 96,000

(貸) 有価証券売却益 1,000

最後に2つの仕訳をまとめて解答用紙に記入すれば完了です。

有価証券の売却に関する問題は、第105回の間2や第107回の間1、第111回の間1、第113回の間2、第116回の間2、第119回の間3、第121回の間2、第122回の間3、第125回の間2、第133回の間2、第137回の間5でも出題されているので、あわせてご確認ください。

5. 固定資産の取得に関する問題です。

本問のように、建設中に建物代金の一部を支払った場合には、建設仮勘定を計上して支出額を記録しておき、建設完了・引渡時に建物に振り替えます。

☆参考・工事代金の一部を前払いしたときの仕訳

(借) 建設仮勘定 2,000,000 / (貸) 現金など 2,000,000

★解答・建設完了&引渡時の仕訳

(借) 建物 5,000,000 / (貸) 建設仮勘定 2,000,000

(貸) 当座預金 3,000,000

固定資産の取得に関する問題は、第101回の間3や第120回の間5、第125回の間4、第128回の間1、第131回の間3、第139回の間1、第139回の間5、第141回の間2、第145回の間1、第147回の間1、第150回の間2でも出題されているので、あわせてご確認ください。